

## 保木薬師堂 横浜市青葉区美しが丘西二丁目7番地2

薬師堂は、天明3年(1783)の建立で、現在は先日訪問した満願寺の境外仏堂となっていて、昭和58年(1983)神奈川県指定重要文化財に指定されています。

本尊の薬師如来坐像は、仏師僧尊栄が、頭部内に書かれた銘文によると承久3年(1221)に彫像したものだといひ、像高は85.5cm、膝張72.2cmで衲衣を着け、右手を胸前に挙げ掌を前方に向け、左手を膝上に置き薬壺を載せ、右脚を外に結跏趺坐しています。檜材を使った寄木造で当初は玉眼が嵌入されていましたが、現在欠失しています。本像は、神奈川県立歴史博物館に寄託されて保管されており、毎年9月12日に帰堂するので、普段は同堂にはおりません(境内掲示版より)。誰も居なかったのに覗いたが薬師如来像は写真のようでした。参道の脇には庚申塔がありましたが文字は読めませんでした。

また、その薬師堂の隣地に「十社宮」があり、新編武蔵風土記稿によると古来「十社権現社」と呼ばれ隣接の薬師堂と共に別当満蔵院が代々その祭祀を守ってきた。明治維新の神佛分離令により「十社宮」と改められた。と記載されている。創建年月不詳であるが、周辺の状況から推察して江戸時代初期と思われる(境内案内版)。



薬師堂本殿



薬師如来は写真のようだ



歴史を感じる庚申塔



薬師堂の隣地にある十社宮



右の建物が薬師堂、左の鳥居の奥が十社宮